

■洪水ハザードマップの作成・周知に係る意見交換会を実施

洪水ハザードマップは、住民の円滑かつ迅速な避難を確保するために、地域の水害リスクや水害時の避難に関する情報を伝える重要なツールであることから、その**作成・周知にかかる関係機関の取組み状況の共有及び意見交換等を、県内の減災対策協議会(直轄・県合同3圏域、県単独4圏域)を構成する市町村を対象に合同で開催した。**

開催概要

- 日時 平成30年9月10日(月)13:30~15:00
- 会場 東青地域県民局地域整備部 2階大会議室
- 出席者
 - ・各圏域の減災対策協議会構成市町村 23市町村 (岩木川:9市町村、馬淵川:4市町、高瀬川:3市町村、青森圏域:5、三八・上北圏域:4市町村、西北圏域:2市町、むつ圏域:1村) ※圏域協議会の重複する自治体あり
 - ・青森地方气象台
 - ・国土交通省東北地方整備局青森河川国道事務所
 - ・青森県(県土整備部、危機管理局、各地域県民局地域整備部)



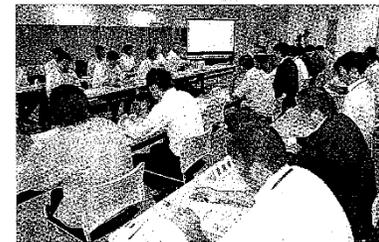
意見交換会の様子



H30.9.10意見交換の開催状況

- 議事
 - ・平成30年7月豪雨について
 - ・洪水ハザードマップの周知について
 - ・土砂災害ハザードマップの周知について
 - ・意見交換

○その他、県管理河川における想定最大規模の浸水想定区域図の公表スケジュール等について情報の共有を行った。



ハザードマップ周知を
青森河川40市町村に呼び掛け

青森県河川国道事務所は、平成30年7月の豪雨による被害を踏まえ、洪水ハザードマップの作成・周知を促進するため、県内40市町村を対象に、9月10日(月)午後1時30分から午後3時00分まで、東青地域県民局2階大会議室で意見交換会を開催した。出席者は、各圏域の減災対策協議会構成市町村の代表者、青森地方气象台、国土交通省東北地方整備局青森河川国道事務所、青森県関係部署の職員など約40名が参加した。会議では、7月の豪雨による被害の状況や、洪水ハザードマップの作成・周知の現状について、関係機関間の連携を強化し、住民への周知徹底を図るための取組について話し合った。

H30.9.11
新聞報道
(陸奥新報)

県民局は、洪水ハザードマップの作成・周知を促進するため、県内40市町村を対象に、9月10日(月)午後1時30分から午後3時00分まで、東青地域県民局2階大会議室で意見交換会を開催した。出席者は、各圏域の減災対策協議会構成市町村の代表者、青森地方气象台、国土交通省東北地方整備局青森河川国道事務所、青森県関係部署の職員など約40名が参加した。会議では、7月の豪雨による被害の状況や、洪水ハザードマップの作成・周知の現状について、関係機関間の連携を強化し、住民への周知徹底を図るための取組について話し合った。

■平成30年9月30日～10月1日の台風第24号による出水状況

台風第24号の接近、通過に伴い、青森県では10月1日の明け方から朝にかけて大雨となり、松野木川（五所川原市・水位周知河川）では避難判断水位を超過したため、地域整備部長から首長へホットラインを実施した。

まつのきわ うるしかわ

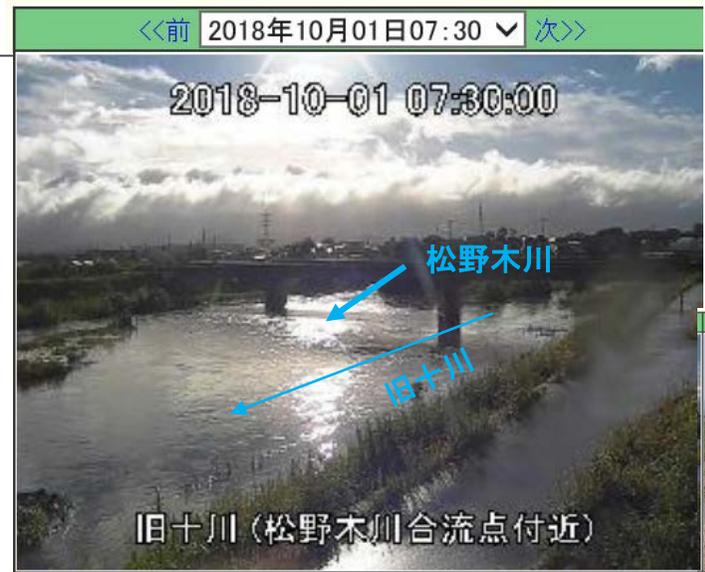
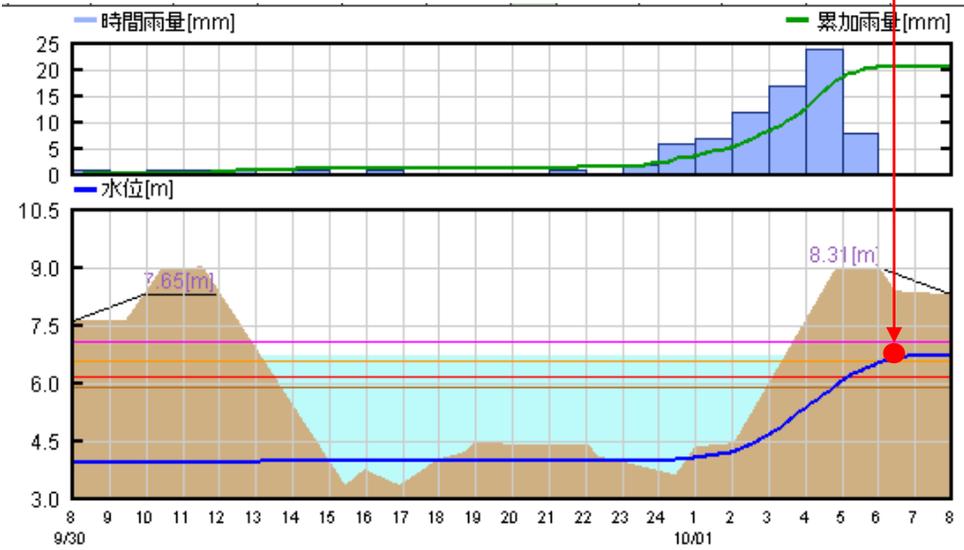
○ 松野木川 漆川水位観測所

時	00分	10分	20分	30分	40分	50分
00	4.00	4.01	4.02	4.03	4.04	4.06
01	4.08	4.10	4.12	4.14	4.17	4.20
02	4.24	4.29	4.36	4.43	4.50	4.59
03	4.67	4.77	4.88	5.01	5.13	5.25
04	5.36	5.48	5.60	5.73	5.84	5.96
05	6.07	6.17	6.26	6.34	6.41	6.47
06	6.53	6.58	6.62	6.66	6.69	6.71
07	6.73	6.74	6.75	6.75	6.75	6.74
08	6.73					

凡例	
雨量	
■	時間雨量[mm]
■	累加雨量[mm]
水位	
■	水位[m]
■	氾濫危険水位 (7.10m)
■	避難判断水位 (6.60m)
■	氾濫注意水位 (6.20m)
■	水防団待機水位 (5.90m)

【10月1日】

- 6時20分 避難判断水位超過
- 6時21分 地域整備部長から五所川原市長へホットラインを実施
- 6時30分 五所川原市、避難準備情報発令
- ※676世帯、1409人対象



ピーク水位 6.75m(10/1,7:30) (参考:避難判断水位6.60m)